Real tendant

リアテンダント®

デジタル採点

誰一人取り残さない 学びの未来を豊かにする
教育DX COCOO(コクー)

2024年度

実施効果報告レポート

【事業者名】
（幹事社）大日本印刷株式会社
（構成員）株式会社１３７

【サービス名】
①デジタル採点システム　リアテンダント
②学校連絡・情報共有サービスCOCOO ライト300
③学校連絡・情報共有サービスCOCOO ライト600
④学校連絡・情報共有サービスCOCOO ライト1000

【支援項目】
①成績処理、生徒指導（個別）、職員会議等の会議
②朝の業務、生徒指導（個別）、行政・関係団体対応
③朝の業務、生徒指導（個別）、行政・関係団体対応
④朝の業務、生徒指導（個別）、行政・関係団体対応

2025年1月

Real tendant

令和５年度補正予算
探究的な学びに資する民間サービス等利活用促進事業
働き方改革 支援補助金 2024

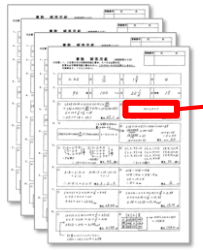
学びのプラットフォーム「リアテンダント」

導入実績
全国 約250自治体(約3,800校)に導入
※23年度末時点 リアテンダントシリーズ累計

紙のテストをスキャナーで取り込み、採点・集計をデジタル化することで、**教員の働き方改革**を実現。
同時に蓄積されたテスト結果データを分析・活用することで**指導の質を向上**し、個に応じた指導を行うなど **教育DXを推進します。**

紙のテストのデジタル採点　働き方改革

中学校・高等学校向け

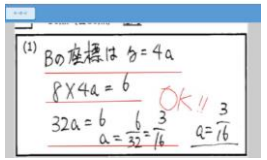


今までの先生自作のテストをそのまま使えます！

スキャン

■設問ごとにまとめて一覧表示。
クリックするだけでサクっと採点！

■1文字なら自動採点 ■自動集計！

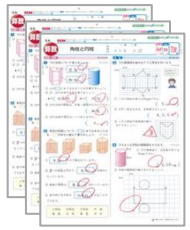


採点時間を
50～60%
削減！

テストの採点がグーンとラクになった！

小学校向け

■設問ごとの○×△を自動集計！



赤ペンで採点した教材会社発行の単元テスト

スキャン

教育DX

設問ごとのテスト結果分析　指導の質の向上

設問ごとの正答率や、
個人やクラスの得点推移が確認できる

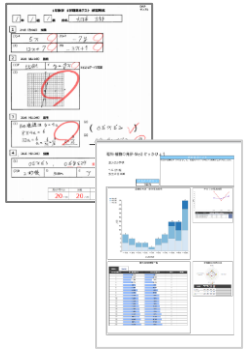
授業改善

個に応じた指導

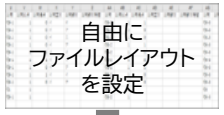
先生同士の学びあい

■授業で手当てすべき問題がわかる！
■指導が必要な児童生徒を見つけられる！

生徒への結果返却で主体的な学びへ



校務システムとのデータ連携



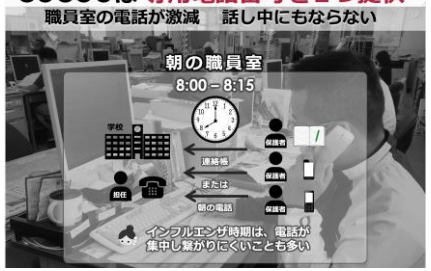
【学校COCOO 特徴と主な機能】

① 誰一人取り残さない 欠席連絡（WEB/電話/多言語対応）
② 出席簿自動作成とリアルタイムな情報共有による働き方改革

1 欠席連絡 電話/WEB

電話 多言語対応

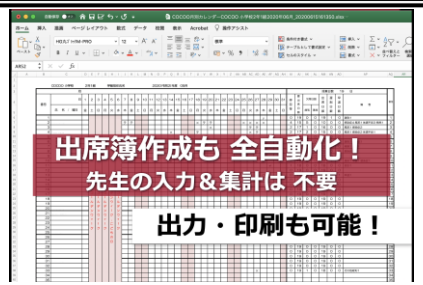
- **24時間**自動受付・自動集計
- **電話とWEBで24時間受付**可
- **多言語**対応（日本語/英語/中国語/スペイン語）



2 出席簿自動作成

校務支援システム連携

- **出席簿の自動作成**・出力機能
- **細やかな欠席項目**による情報集約
- **校務支援システムとの連携**



3 お知らせ配信

メールや電話 振分発信

- **メール、電話**で一斉配信
- **未読者への再配信**機能
- **アンケート**も自動集計

メアド非表示の安心設計
個別メールや音声メッセージの一斉配信＆自動集計も対応

【データのリアルタイム・自動連携表示】

【自治体COCOO 特徴と主な機能】

③ 詳細な欠席情報データの利活用(EBPM支援)
④ 自治体から保護者/教職員への迅速な情報発信(掲示板)

4 ダッシュボード

特許 ビジュアル集計

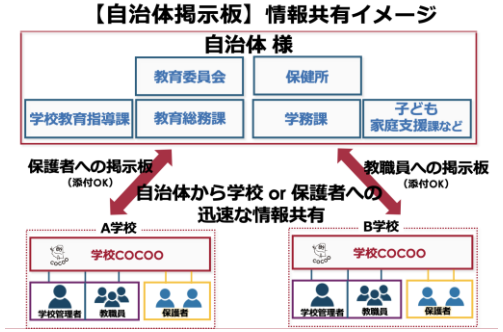
感染症もMap自動表示

- 特許活用 ダッシュボード
  情報集計の全自動化/可視化による業務改善
- 詳細な欠席情報の全自動集計により、エビデンスに基づく**EBPM実施の実現支援**

5 先生掲示板

自治体から保護者もOK

- 自治体から**直接、保護者向けの効率的な情報発信による業務改善**
- 自治体から教職員向けの情報発信による**迅速な情報共有の実現**



先生方、保護者の心の余裕を生む　・　学校、自治体の業務の適切化・効率化

誰一人取り残さない　豊かな学びの未来の実現へ

【事例紹介】

「誰一人取り残さない」情報共有の可視化が生み出した新たな価値
時間やコストを節約するだけでなく より良い学びの未来づくりへ

【東京都墨田区様】 業務改善効果の一例

BSテレ東 日経スペシャル番組　2023.09.24
「地域の教育を持続可能にする！子どもも親も先生も喜ぶ教育DX

アーカイブ動画　QRコードから 後半 7:21～　ご覧いただけます

【大阪府守口市様】 不登校対策効果の一例

信頼関係の再構築から 学校への登校へと変化

「誰一人取り残さない」
情報共有の可視化が生み出した新たな価値

事業構想×デザイン思考
から生まれた教育DX
「COCCO（ココ）」がもたらした変革

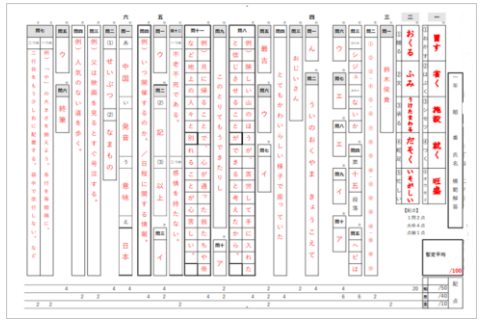
1年間連絡のご家庭からCOCOO導入２日後に、欠席連絡が届いた

日本教育新聞 2022年10月10日　https://www.kyoiku-press.com/post-249857/

令和５年度補正予算
探究的な学びに資する民間サービス等利活用促進事業
働き方改革 支援補助金 2024

武蔵野市教育委員会様でのリアテンダント活用事例

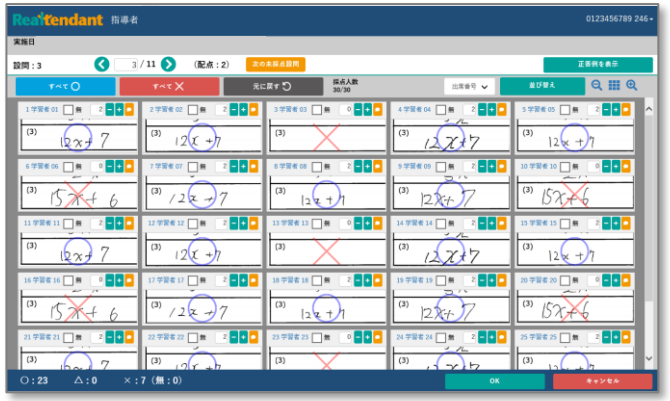
紙のテスト実施・スキャン



解答用紙　※イメージ

先生のパソコンから
解答用紙をアップ
ロードして設定

デジタル採点



パソコン上でデジタル採点

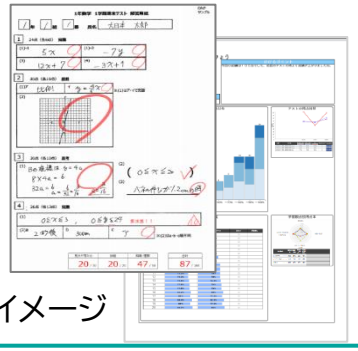
■串刺し採点による採点時間削減
- 手が汚れず疲れずサクサク作業ができる。
- 採点時間が削減され、残業時間が減った。
- △を並べて比較できるので部分点の基準がぶれなくなった。
- 記述評価に一貫性が保ちやすかった。

■１文字なら自動採点
- 採点ミスが多かったので、自動採点は非常に助かっている。

■自動計算で計算ミス削減
- 暗算する労力が不要になったので、気分的に採点が楽になった。

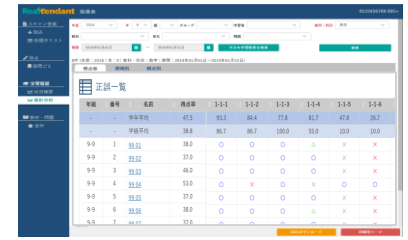
生徒への返却

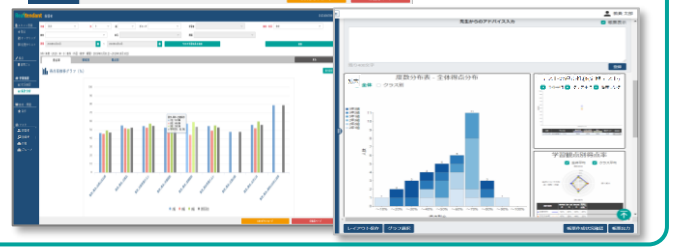
■スピーディーなテスト返却
- 採点時間の削減で早期返却が可能



※イメージ

結果の集計・分析





■設問ごとの正答率

■時系列推移

■クラス間比較など

教育データの活用

■授業への活用
- 採点時間が削減できたので教材研究や教材作成にあてられた。
- 設問ごとの正答率がわかるのでふり返り授業に活用できた。
- 次回授業をするときに意識して教えることができる。
- クラス間・クラス内で得点に大きな差が生じていないか確認することができた。

■個に応じた指導への活用
- （削減した時間で）生徒に向き合う時間にあてられた。
- ノーマークだった生徒の学習の変化や課題に気づくことができた。

■テスト作問への活用
- テストの作問改善に活用できた。

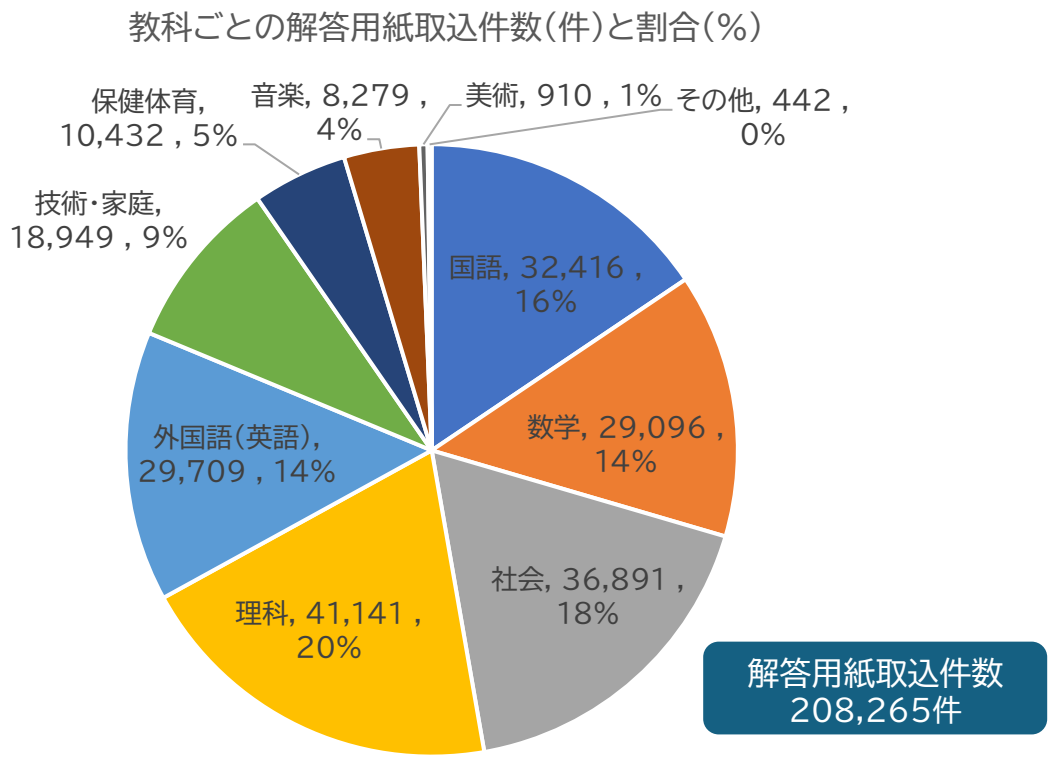
校務システムへの連携

※個人情報の関係上、解答の文字や分析はサンプルを表示しています。

全17自治体118校の合計の利用状況は下記の通りです。
多種多用な教科で、定期テストだけでなく小テスト等でもご利用いただいています。

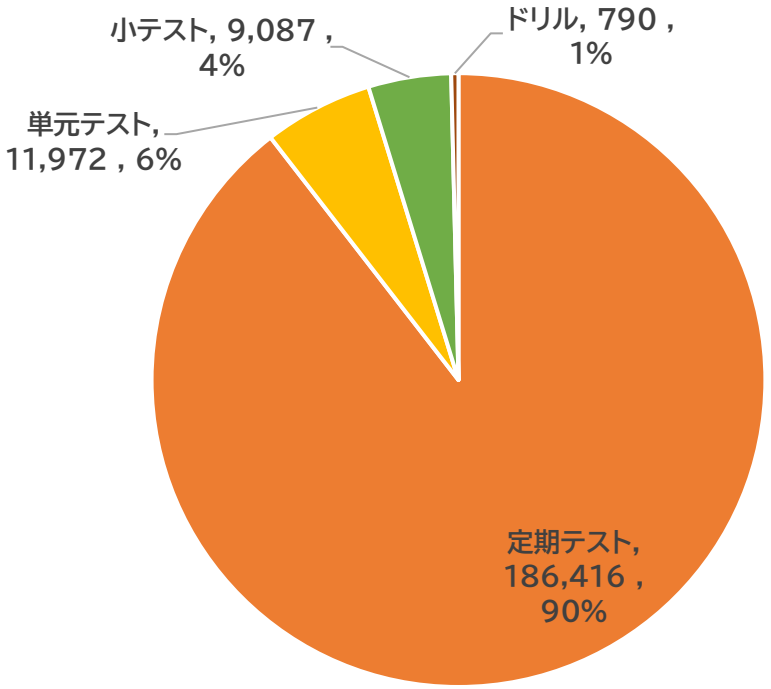
■ログ集計期間2024年7月～12月末
■全17自治体118校合計数値

①リアテンダントを活用した教科の種類



国語、数学、社会、理科、英語などの**主要教科だけでなく、**
技術・家庭、保健体育、音楽、美術、などの**副教科を含めて、**
多くの教科でご活用いただいています。

②リアテンダントを活用したテストの種類



定期テストだけでなく、単元テストや
小テストやドリルなど日常的にご活用いただいています。

導入実績および事例の紹介

下記の通り、17自治体118校へリアテンダントを導入いたしました。

都道府県	学校設置者名	学校数	構成員メインサービス
新潟県	胎内市教育委員会様	中学校1校	「学校連絡・情報共有サービスCOCOO」
鹿児島県	阿久根市教育委員会様	小学校7校、中学校3校	
埼玉県	吉川市教育委員会様	中学校4校	「事例で学ぶNetモラル」 「事例で学ぶ学校情報セキュリティ」
埼玉県	富士見市教育委員会様	中学校6校	
東京都	武蔵野市教育委員会様	中学校6校	
新潟県	新潟市教育委員会様	中学校5校	
新潟県	新発田市教育委員会様	中学校10校	
富山県	射水市教育委員会様	中学校2校	
富山県	上市町教育委員会様	小学校1校、中学校1校	
石川県	野々市市教育委員会様	中学校2校	
石川県	能美市教育委員会様	中学校3校	
山口県	岩国市教育委員会様	中学校7校	
香川県	さぬき市教育委員会様	小学校7校、中学校3校	
鹿児島県	鹿屋市教育委員会様	小学校23校、中学校12校	
群馬県	伊勢崎市教育委員会様	中学校8校	「なるほど！エージェント」
熊本県	熊本市教育委員会様	小学校3校、中学校3校	
熊本県	南小国町教育委員会様	中学校1校	
合計	**17学校設置者**	**118校**	

※3つのコンソーシアム申請分にて「リアテンダント」を提供しているため、3申請分での導入実績になります。

※コンソーシアム構成員企業のサービスについては「構成員メインサービス」に記載。

※当報告書の対象については黄色アミをかけています。

【働き方改革支援補助金2024 新規導入】
全国 17アカウント・約5,600人（3自治体）

自治体別 アカウント発行数一覧

自治体名（導入区分）	アカウント数					人数		
	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校	合計	児童生徒数	教職員数	合計
新潟県胎内市教育委員会（COCOO×リアテンダント）		1			1	368	44	412
鹿児島県阿久根市教育委員会（COCOO×リアテンダント）	7	3			10	1,187	155	1,342
神奈川県横浜市教育委員会（デキタス×COCOO）	3	1	1	1	6	3,516	371	3,887
総計	10	7	1	1	**17**	5,071	570	**5,641**

学校活動支援サービス導入による成果

1クラスあたりの採点時間の削減効果は下記の通りです。

■アンケート期間2024年12月
■アンケートご回答者数73名

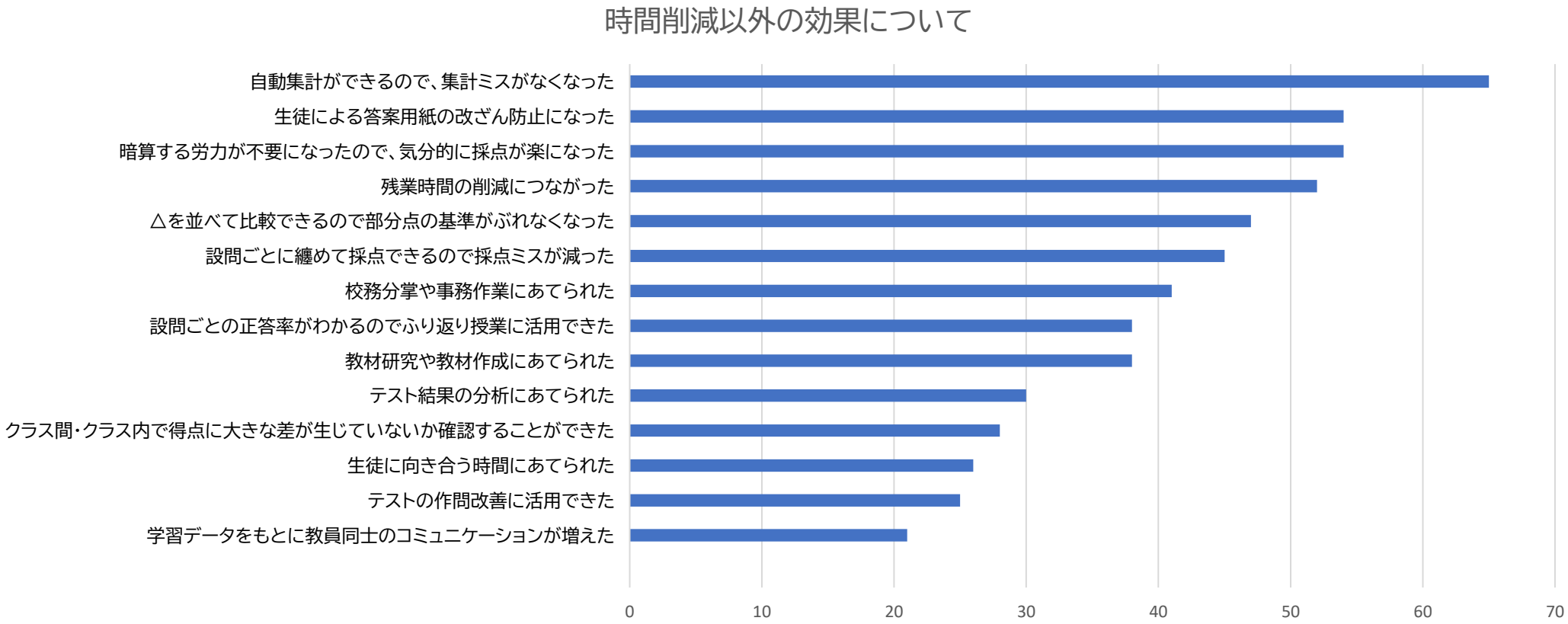
採点に関する作業項目		従来の紙の採点	リアテンダントでのデジタル採点	各作業項目の削減率
1	採点・丸付け作業	159分	76分	52%削減
2	点の見直し	36分	19分	47%削減
3	合計点・観点別得点の集計	50分	12分	76%削減
4	紙の成績管理台帳や校務支援システムに点数入力	22分	10分	55%削減
合計		**267分**	**117分**	
削減時間			1クラスあたり **150分削減**	
削減率			**56%削減**	

従来、1クラスあたり平均267分かかっていた採点時間が平均117分となり、
1クラス分の採点時間を平均56% 150分削減することができました。

学校活動支援サービス導入による成果

採点時間の削減以外にも下記のような効果をご報告いただきました。

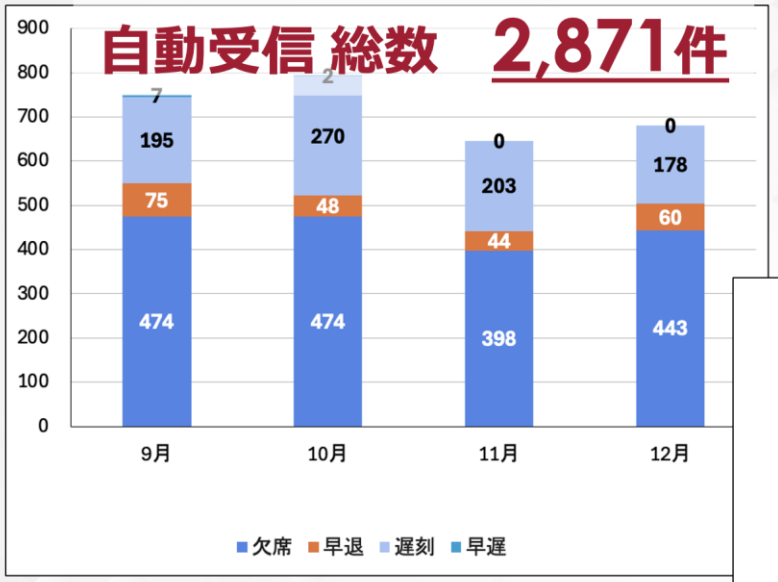
■アンケート期間2024年12月
■アンケートご回答者数73名
■複数回答可

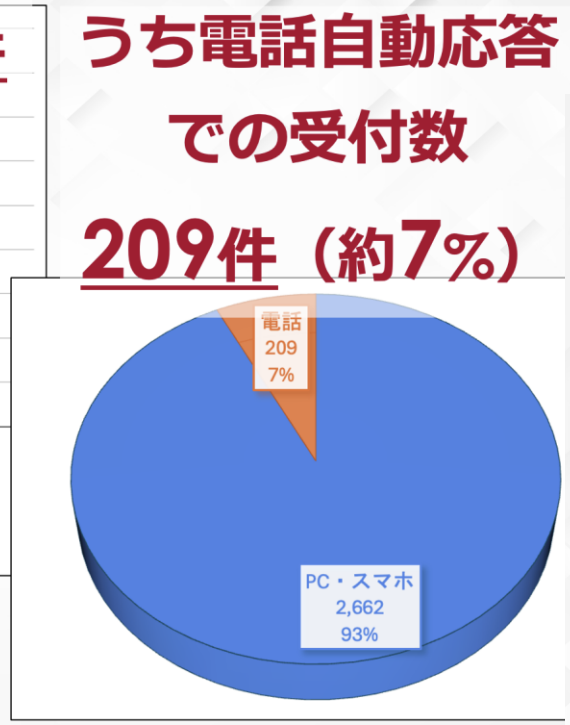


時間削減以外にも、集計・採点ミスが無くなった、改ざん防止になった、暗算する労力が不要になったので残業時間の削減につながった、部分点の基準のブレがなくなったなど、様々な効果を実感いただいております。

【胎内市立 中条中学校のCOCOO欠席等連絡 月別受信数とその効果】

集計期間　２０２４年９月～１２月（４か月間）　生徒数　約３７０人規模の学校の場合

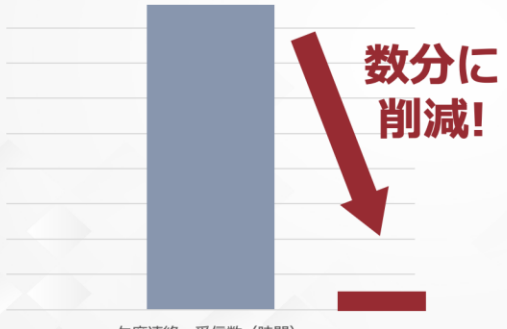




【対象校】胎内市立中条中学校
【集計期間】2024年9月～12月（４か月間）

欠席連絡自動化による削減効果

2,871件× 3 分(仮定)
＝144時間



うち電話自動応答
での削減効果

209件× 3 分(仮定)
＝627分

※先生が欠席電話の受電対応から欠席集計までを1件3分と仮定した場合

【対象校】胎内市中条中学校　【集計期間】2024年9月～12月（４か月間）

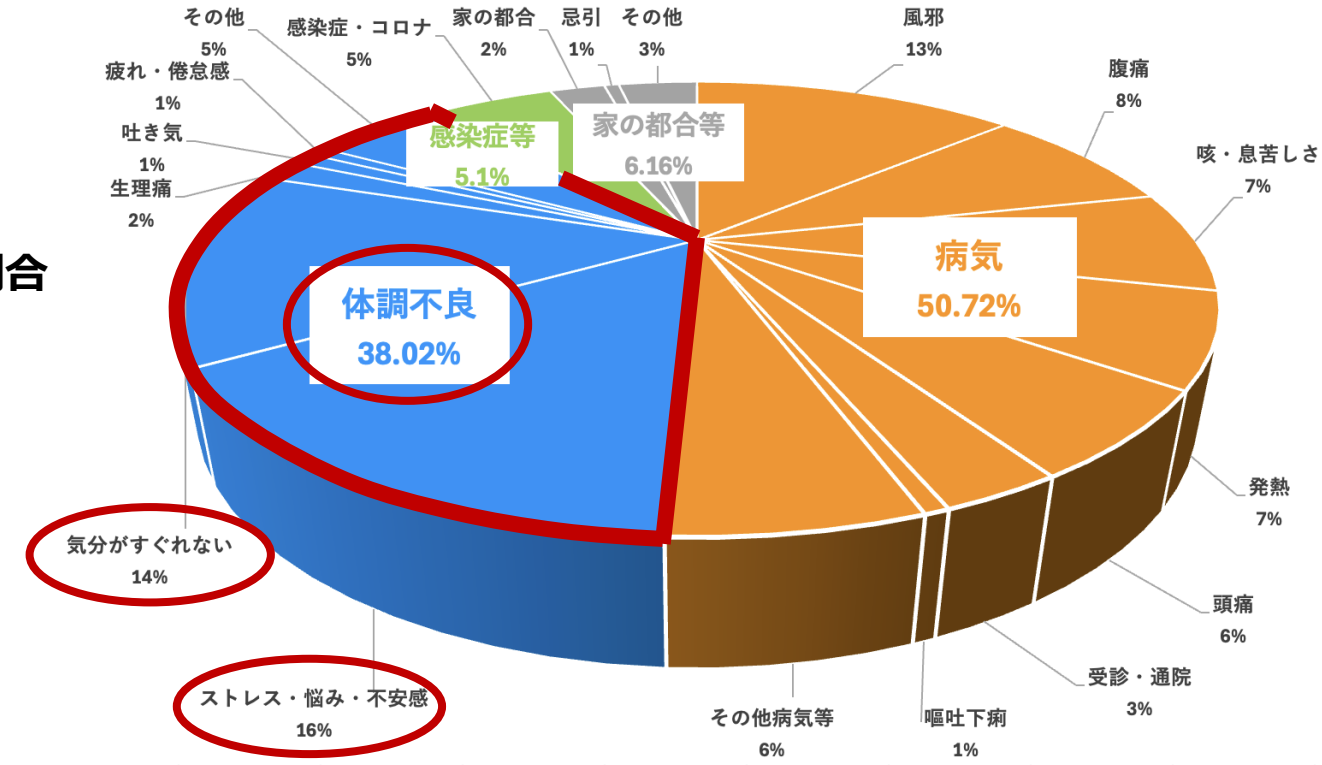
2024年9月～12月（4か月間）で、2,871件（うち209件が電話）の欠席連絡を受け付けた。

欠席連絡の自動受付・集計により、144時間（うち627分が電話）分の削減効果があった。

【新たな成果物】 ➡ 【教育の質を高めるデータの活用】

①教師のEBPM推進を支える具体的なエビデンスの提供
②詳細な欠席データ分析・利活用の可能性への高まり

一例：A市立 B中学校
COCOO欠席理由ごとの割合



① 体調不良による欠席が、全体の約４割を占めている。
② 「ストレス・悩み・不安感」が約16%、「気分がすぐれない」が約14%と高い。

学校活動支援サービス導入による成果

Real tendant

小テスト・定期テストのデジタル採点による採点作業の効率化。
採点時間が50～60%削減。

↓

教育データ活用に
取組む時間を創出

cocoo

欠席連絡自動化により4カ月間で
144時間分（約370人規模の学校）の
削減効果あり。

↓

欠席詳細理由や状況をエビデンスとして児童生徒に接することで質の高い教育データ活用を実現。

↓

両メインサービスのご活用により
先生方の「働き方改革」と教育データ活用の推進の
両輪を支援

コンソーシアムとしての相乗効果

■「働き方改革」と「教育データ活用」の一体的な支援

「リアテンダント」では設問ごとに一覧にできるため採点が効率的になり、採点時間50～60%程度の削減が実現できています。その分、**授業準備や生徒指導といった他の校務に時間を充てられると共に、教育データ活用に取り組む時間を創出することで児童・生徒の学び方改革にも繋がっています。**

一方、「COCOO（コクー）」では欠席連絡受け業務（受電から欠席集計）を自動化することで大幅な校務削減が実現できています。さらに出席簿のためだけの集計に留まらず**児童生徒一人ひとりの欠席理由分析から全体の傾向から個別の状況まで「心のケア」に関するデータ活用**を推進しています。

このことからコンソーシアムの相乗効果として**「テスト評価」＋「心のケア」の両面から質の高い教育データ活用を一体的に支援しました。**

導入における課題

①ICTに苦手な先生が使い始めるまでには時間がかかる。

②ICTに得意な先生が苦手な先生に教えるための負荷が高まる。

■先生からいただいたご意見

・職員間で利用状況に差がある。

・まだ慣れておらず、大きな時間削減とはならなかった。継続して使用できれば削減できると思う。

・模範解答の読み出しや解答用紙の登録に手間がかかる職員がいる。

改善策

■ICTに得意な先生からではなく、不慣れな先生ほど最初の研修にご参加くことで、より早期に全校で活用いただける流れを作る。

■先生全員がより「メリット」をご理解いただき「期待感」を持っていただけるよう、実際に時間削減に繋がった具体的な事例や先生の生の声の情報提供を随時行ったり、利用ログをフィードバックすることで「みんなも使っているから使おう」という流れを作る。

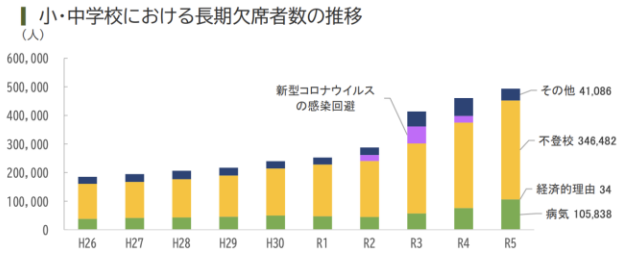
【課題】

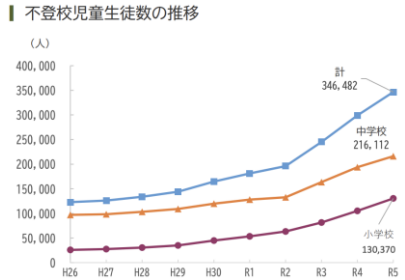
1. 本当のDXでないと意味がない

・**欠席連絡システムは、多様化**し、校務支援システムに組み込まれているものや汎用クラウドツールを使うものがある。
・しかし、その多くが、**単に出欠席の数値を集め、その数値を表示する**にとどまっているため、欠席状況の詳細分析には至っていない。
・そのようなツールは、デジタル化には寄与しているが、**人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるDXとは言えない**。

2. 長期欠席者数の増加と欠席理由の把握

・小中学校の不登校児童生徒数は**過去最多　約35万人**を記録している。
・COCOOにより、**体調不良「ストレス・悩み・不安感」、「気分がすぐれない」が原因が欠席理由の上位**を占めていることがわかった。
・教職員の負担は増える一方で、**現状の「心の健康観察システム」は、先生の主観での判断と児童生徒自身の自己申告（タブレット端末からの選択方法）では、正確性に疑問**があると捉えている教職員は多く、今の方法で集計したデータを生徒指導などに生かすのは難しい。





出典：文科省資料[令和５年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要]から
https://www.mext.go.jp/content/20241031-mxt_jidou02-100002753_2_2.pdf

【改善策】

1. DXの推進により、より良い学びの未来へ

・COCOOは、単に数値を集計するだけでなく、ビュジュアライゼーションの手法を用い、教育現場や自治体現場において**直感的にわかりやすく情報を自動集計し、リアルタイムな表示を実現した**。（特許活用）
・それにより、**業務の効率化**はもちろんのこと、**エビデンスに基づいた政策立案・実施（EBPM）へのデータ利活用活用支援**ができる。
・このようなシステムが、**API連携により、自由に、かつ、自動的に相互連携する**ことにより、**教育現場の利用度・満足度を高くし、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるDXとしての本質的な価値提供を目指したい**。

2. エビデンスに基づいた児童生徒へのアプローチ

・出欠席連絡は、出席簿のためだけにデータを集計するのではなく、生徒一人ひとりの**細やかな欠席理由や状況を把握する**ことが重要である。コロナの後も、長期欠席者の増加により、対策は急務である中、教職員の業務負荷をかけずにできる方法が求められている。
・例えば毎朝の健康観察では、教職員や児童生徒自身の主観に頼らず、**元気度等をAI分析できる技術を活用し、客観的データにより一人ひとりの元気度など**状態の変化を**見える化すること**により早期把握**を目指す。**
・さらに、客観的な感情等を児童生徒自身が理解することで、自分の感情の気づき、他者を理解する力を育み、自己理解から**メタ認知やレジリエンスカの強化を目指す。**

採点時間やミスの削減について

■採点時間の削減

・採点業務の時間削減に大きく役立っている。使えなくなると困る。
・利用することで間違いなく時間短縮につながっています。
・手が汚れず疲れずサクサク作業ができて精神的にも楽だった。
・時間削減したおかげで帰宅時間が早まった。
・紙の出し入れをしなくてよいので、隙間時間に断続的に採点できるようになった

■操作支援体制の充実

・ヘルプデスクにもすぐつながり、的確にご対応いただけます。

■自動集計が便利・楽

・自動集計はどの先生も、便利だと口々に言っている。
・今までは採点直後に返却する関係で、観点別の点数の記録が煩瑣だったが、クラウド上に自動保存されるため学期末にまとめて貼り付けるだけで良くなり、手間が1つ減った。
・自動集計が大変便利だという声がよく聞かれます。
・今までは観点で色を分け、計算していたがその必要がなくなったので大幅な時間の削減につながった
・返却時の計算ミスが無くなった。 ・観点別に丸の色を分ける必要がなくなった

■採点ミスが削減できた

・採点ミスが多かったので、自動採点は非常に助かっている。

■部分点の評価精度を高めることができた

・記述評価にも一貫性が保ちやすかった。

■不正を防ぐことができた

・テスト後にすぐにスキャンするため、答案の保護が出来る。あってはならないが、万が一の紛失や不正の防止になっている。
・生徒の答案用紙の改ざん防止についても、効果ありだと実感しています。

指導の質の向上について

■振り返り授業の質が向上した

・正答率を利用して解説できる

■教材研究の時間が増えた

・削減した時間で教材研究をおこなった。

■児童・生徒の自律的な学習に繋がった

・具体的な正答率を提示できることで、生徒の意欲喚起にもつながった。
計算ミスもあり得ないため、生徒が見直しをする際も、問題の正誤チェックや部分点の確認のみとなり、生徒も本質的な部分の見直しに集中できるようになった。

サービスを利用した児童・生徒・教職員等のコメント

業務改善（働き方改革）

・欠席連絡情報を**ホワイトボードに手書き**していましたが、**その手間がなくなりました**。
・欠席連絡がほとんどCOCOO経由で行われるため、**電話連絡が減少**し、業務負担が軽減できました。
・お便りや面談日程調整などがデジタル化し、**紙配布の負担が減少**しました。
・カレンダー機能を活用し、行事などの情報共有をすると、問合せの減少につながる可能性があると思います。
・以前のシステムと比べて、**直感的に使いやすく、管理者や教員の負担軽減に貢献**しています。

情報共有の確実性・効率性

・欠席の情報が**一覧でリアルタイムに確認**できるため、**全員の出欠確認が簡単便利になりました。**
・欠席状況の一覧を**常に職員室の大型モニターなどに表示**することで、**職員が各自の端末を開くことなく、保護者からのメモを含めた情報が全ての先生に共有**できて、とても助かります。
・職員室から出ていくタイミングで確認できるため、**先生方の授業準備や対応に役に立っています**。
・生徒の人数が多い学校でも、COCOOがあることで、**全体の把握ができることはとても大事だと思います**。

安全性・信頼性

・避難訓練時において、欠席情報のスクリーン写真を撮影することで、**生徒の人数把握に役立っています**。
・COCOOは、教員が作成したメール等でも、管理職に通知が来るので、**各教員から保護者への連絡状況の把握ができています**。

COCOOのホワイトボード画面 自動更新が大活躍！

大型モニター×COCOO リアルタイム・確実な情報共有！

会社概要

■商号　大日本印刷株式会社

■本社所在地　東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

■電話番号(大代表)03（3266）2111

■創業　1876(明治9)年10月9日

■設立年月日　1894(明治27)年1月19日(登記)

■資本金　1,144億64百万円(2024年3月31日現在)

■売上高　1兆4,248億22百万円(連結)　9,590億76百万円(単体)（2024年3月31日現在)

■従業員数　36,911名(連結)　9,589名(単体)（2024年3月31日現在)

DNP市谷加賀町ビル

■主な事業組織
出版イノベーション事業部、情報イノベーション事業部、イメージングコミュニケーション事業部、Lifeデザイン事業部、生活空間事業部、モビリティ事業部、高機能マテリアル事業部、ファインデバイス事業部、オプトエレクトロニクス事業部、コンテンツ・XRコミュニケーション本部、教育ビジネス本部、メディカルヘルスケア本部、ICC本部、左内町営業部、ABセンター

■リアテンダント デジタル採点 ご紹介 ホームページ
https://www.dnp.co.jp/biz/theme/edu/

■リアテンダント デジタル採点についてのお問い合わせ先
メール：gsm edu gk@mail.dnp.co.jp

Realtendant

株式会社１３７

本社　東京都港区南青山4-17-33　グランカーサ南青山2F

URL
https://www.137.co.jp

代表取締役社長
黒田 千佳

設立
2014年1月（2014年11月より営業開始）

経営理念　**社会課題を解決する事業を生みだし 未来へつなぐ**

主な事業内容

・社会課題解決に向けた事業構想(プロジェクトデザイン)、新規事業企画開発
・Webコンテンツの企画開発、運営販売に関する事業、
・人材育成・教育に関する事業

提供サービス

1. 緊急時情報伝達システム「5co Voice」（ゴコボイス）
2. 学校連絡・情報共有サービス「COCOO」（コクー）

受賞履歴

・世界銀行 世界防災減災ハッカソン2014　グローバルファイナリスト
・MIT Climate CoLab 2014コンテスト　グローバルファイナリスト　Judges' Choice Winner
・MIT Climate CoLab & MIT Center for Collective Intelligence メンバー
・東京都女性ベンチャー成長促進事業 APT Women ４期生
・日本政策投資銀行主催 第８回DBJ女性新ビジネスプランコンペティション
　DBJ女性起業大賞 / 最優秀ソーシャル・デザイン賞受賞
・内閣府 令和4年度女性のチャレンジ賞 受賞